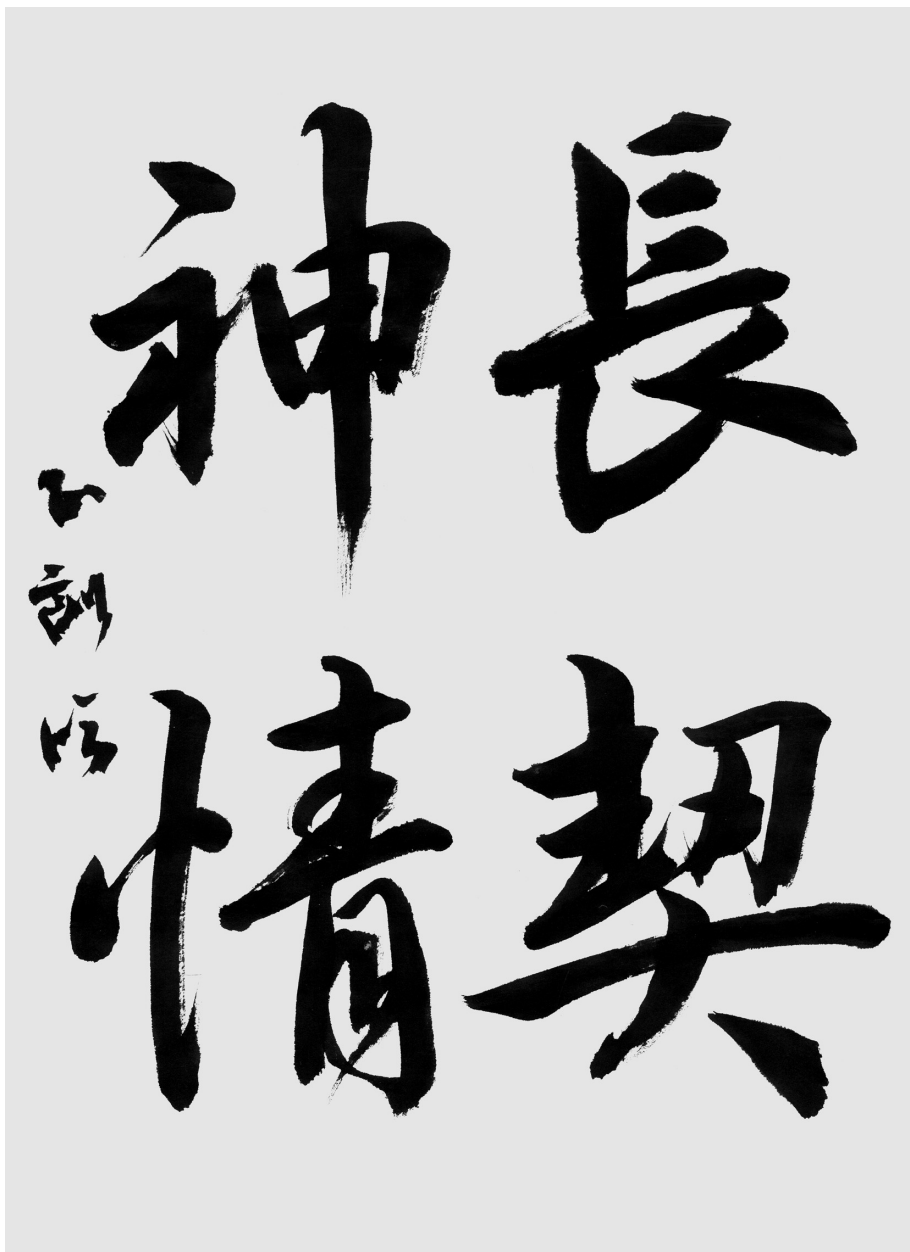


高・大・一般 漢字(行書)



長契神情



見城 正訓

集王聖教序 ③

〈解説〉
今月の四文字課題は「集王聖教序」の最終回となりますので、まよめの気持ちで仕上げましょう。

「集王聖教序」は「蘭亭序」に比べ運筆が平明なため、行書の特徴を理解しやすく初学者にとってはより学びやすいものとされています。

楷書は一点一画がそれぞれ切り離されて独立しているため、初学のころは字形に注視して学習することができません。一方、行書は字形とともに運筆のリズムも大切で、それぞれを別々に考えるのではなく、「形と線が連動する」ことの大切さを先達の先生方は口をそろえて説かれます。繰り返し書き込むことで自ずと頭に字形がインプットされるよう、運筆の流れの中で字形が定着することを意識して書きましょう。

〈学習上の留意点〉

「長」：筆順に注意してください。六画目は一画目より左から書き、縦から右上に向かって払います。

「契」：右上部は「刀」ではなく「刃」にします。横画を強調してください。

「神」：最終画がこの作品の由来を左右します。垂直に勢いよく運筆しましょう。

「情」：「立心べん」の筆順に注意し、偏と旁の間を広く取りましょう。



高・大・一般 (毛筆・硬筆)

西城 研

はがきを書く(裏面)

先月のはがきの表面(宛名書き)に引き続き、今月のはがきの裏面を書いてみましょう。

はがきは封書に比べると略式の文書にあたり、自由な形式で書いて構わないほか、用途はお祝いや御礼、季節の挨拶やご案内など多岐にわたります。

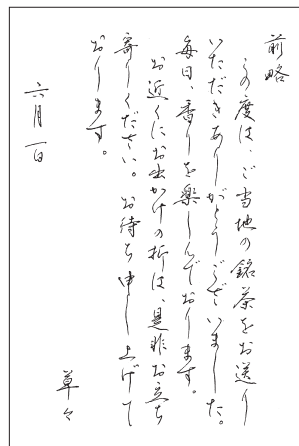
◎書き方のポイント

- ・「読みやすさ」のため、上下左右に適度な余白をとる。
- ・中心を整えて書き、行間は等しく空ける。
- ・文字数に応じた筆記具(線の太さの工夫)を選択する。

◎書式上での注意点

- ・頭語と結語の組み合わせを正しく書く。
- ・頭語の後、続けてその行に書く際は、結語も末文と同じ行に書く(課題(A))。頭語の後、改行して書く場合は、結語も末文から改行して書き(下図(A)参照)、統一性をもたせる。

課題(A)



課題(A)ははがき又ははがきサイズ大の紙に手紙文を、課題(B)では頭語と結語の組み合わせを練習しましょう。

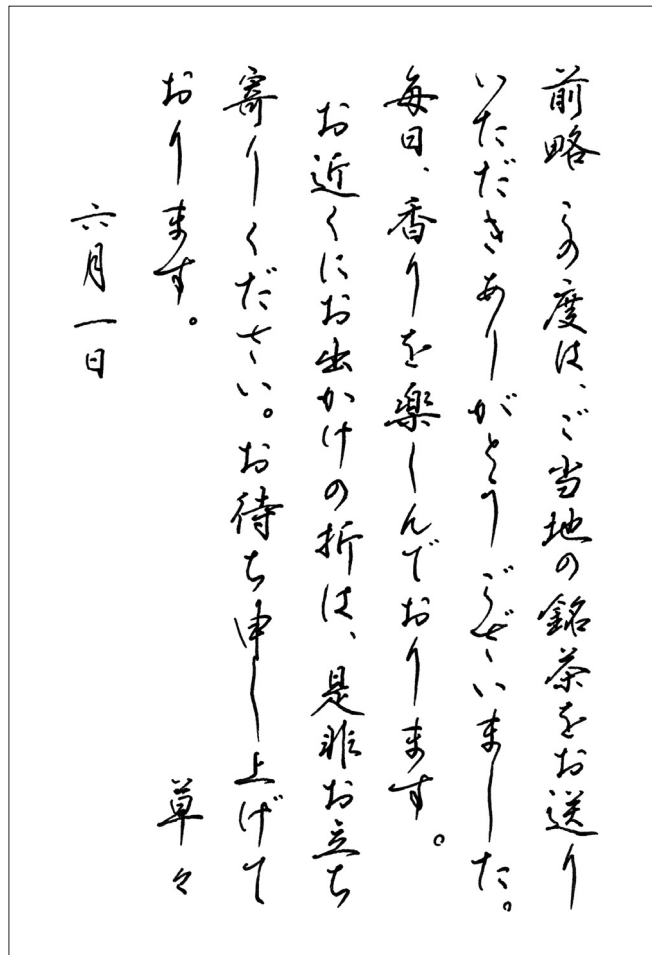
現在は時間を置かずに相手へメッセージを送信できる電子メール等が主流ですが、相手のことを想いながら「時間をかけて」書く「手書き文字」は心に響くものです。美しく整った文面を心がけて書きましょう。

△提出について▽

- ※課題(A)、(B)ともに、毛筆・硬筆どちらで書いても可とします(ただし、提出は一点のみ)。
- ※作品に貼付する出品券欄には、毛筆には毛筆の、硬筆には硬筆の段級位を書いてください。
- ※提出作品は、課題(A)、(B)のどちらか一点です。
- ※生涯学習部での提出はできません。

課題(A) (毛筆・硬筆)

△指定用紙▽はがきまたははがきサイズにカットした用紙
△指定用具▽毛筆(小筆)、硬筆用ペン、サインペン、ボールペン、万年筆、鉛筆



課題(B) (毛筆・硬筆)

△指定用紙▽硬筆指定用紙(中、高、大、一般用)
△指定用具▽毛筆(小筆)、硬筆用ペン、サインペン、ボールペン、万年筆、鉛筆

